

## 実践報告

# 看護セミナー 「Z世代女性の健康を考える性教育・月経・子宮頸がんワクチンについて」 —対面および遠隔視聴による学び—

加藤千恵子<sup>1)</sup>\* 齋藤千秋<sup>1)</sup> 岩田直美<sup>1)</sup> 室矢剛志<sup>1)</sup> 鈴木捷允<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 名寄市立大学保健福祉学部看護学科

キーワード：看護セミナー Z世代 性教育 月経 子宮頸がんワクチン

### 1. はじめに

本学看護学科では、北海道看護協会上川北支部三職能委員と名寄市立大学コミュニティケア教育研究センターの共催により看護セミナーを年1-2回開催している。

今年度は、加藤育民氏を迎え、「Z世代女性の健康を考える、性教育・月経・子宮頸がんワクチンについて」と題して、ご講演をいただいた。コロナ禍であり、感染対策を行い対面で実施した。北海道看護協会上川北支部会員、および名寄市立大学教職員、本学学生、周辺施設や学校に周知し、同日2会場で実施した。

演題のZ世代<sup>1)</sup>とは、1990年中盤以降に生まれた世代を指し、米国で1960年代中盤～1980年頃生まれが「X世代」と名付けられたことに始まり、その後の1980年頃～1990年代中盤生まれが「Y世代(ミレニアル世代)」と呼ばれ、それに続く世代という意味でZ世代、ジェネレーションZと呼ばれている。

この世代の性教育と月経、子宮頸がんワクチンに関して加藤育民氏は道内における思春期教育の第一人者であり、日本思春期学会の理事をしている。また、旭川医科大学産婦人科教授として、産婦人科医療の先陣を切って医師の教育にあたり、医療の質の推進を図っている。先生の取り組みや考え方の一端に触れ、看護職者としてZ世代に関わる時の一助として、学生には最新知識をわかりやすく学ぶ機会とするため講師依頼し、御快諾をいただいた。

学生には母性看護学概論、成人看護学概論、国際看護学、病児・病後児保育などの講義として2会場対面および遠隔で視聴してもらった。本稿では、視聴後、アンケート調査を行い、アンケートで得られた結果から、看護セミナーにおける学びを明らかにしたいと考える。

### 2. 看護セミナー開催概要

#### 1) 日時、場所

(1) 日時；令和4年10月2日(日)14:00～15:30

(2) 場所；名寄市立大学図書館大講義室(対面)および121教室(遠隔)

#### 2) 参加者概要(表1参照)

(1) 参加者は188名(一般41名、学生147名)で、アンケートの回収率は81.9%(154/188)であった。

#### (2) 職と地域

参加者の職は、病院の医師5名、助産師1名、看護師4名、看護助手1名で、保健師は各市町村から11名が参加した。小学校関連は教諭、養護教諭の2名であった。北海道看護協会上川北支部所属の参加者は21名であった。参加地域は名寄市、下川町、幌延町、美深町、剣淵町、猿払村、音威子府村などであった。

\*責任著者 E-mail:chiekok@nayoro.ac.jp

表1 参加者の内訳

所属・職業	参加人数		職業(保健師は自治体名)	北海道看護協会 上川北支部所属人数
	一般	学生		
3病院	11名		医師5名、助産師1名、看護師4名、看護助手1名	3名
保健師	11名		名寄市1名、下川町1名、幌延町1名、美深町2名、 猿払村4名、音威子府村1名、剣淵町1名	2名
小学校教諭	2名		教諭1名、養護教諭1名	0名
高校生		8名		0名
学生(看護)		107名		0名
学生(社会保育)		31名		0名
本学教員	11名			9名
職能委員	7名			7名
計	42名	146名		21名

### 3. アンケート結果

アンケート結果を掲載する。参加者の記載番号はランダム表記である。

#### 1) 一般の看護セミナーを知った方法 (図1参照、複数回答)

一般の看護セミナーを知った方法は、ポスター52.4% (22/42)、チラシ26.2% (11/42)、その他、看護協会からのお知らせ、教員からの声かけ、大学HP、学校からの案内などであった。

#### 2) 参加動機 (一般、図2参照)

一般の参加動機は、医療職である(目指している)25名、講師やテーマに興味がある23名、勧められた9名、将来役に立てたい7名であった。

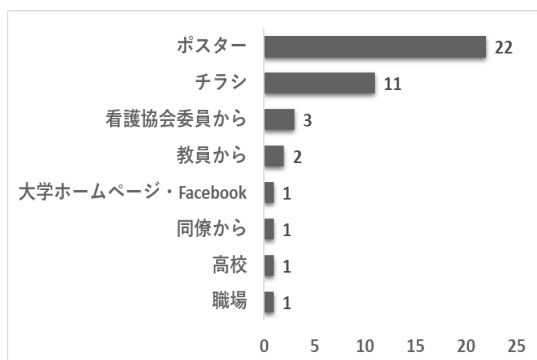


図1 一般の看護セミナーを知った方法 (複数回答)

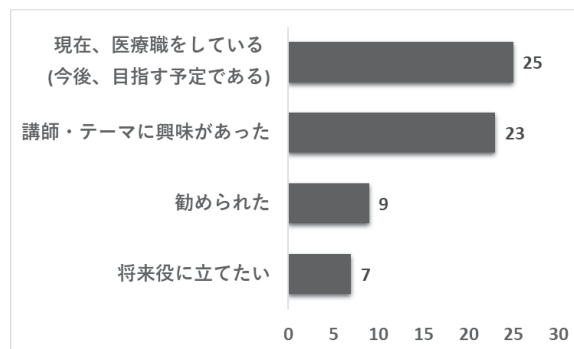


図2 一般の参加動機 (複数回答)

#### 3) 講演の感想

##### (1) 学生の感想 (図3参照)

講演について、大変良かった71.7% (81/113)、良かった27.4% (31/113)、あまり良くなかった0.9% (1/113)であった。その内容は、概ね好評であった。

記述内容のカテゴリを表2-4に示す。

1年次生は《月経や子宮頸がんなど知らないことや知識不足な部分を詳しく知る、学ぶ、理解する貴重な機会》

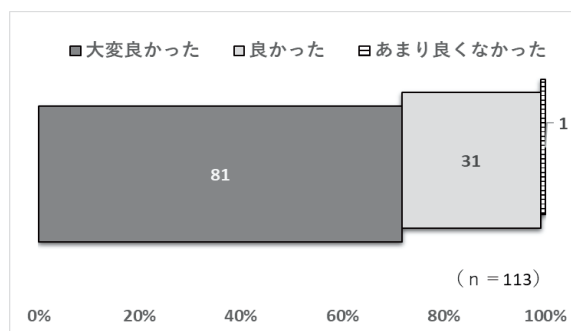


図3 学生の感想

表2 1年次の感想からの学び サブカテゴリとカテゴリ

サブカテゴリ<8>	カテゴリ《4》
月経や子宮頸がんなど知らないことや知識不足な部分を詳しく知る、学ぶ、理解する、身につく (20)	月経や子宮頸がんなど知らないことや知識不足な部分を詳しく知る、学ぶ、理解する貴重な機会 (26)
考え、知識を身に付ける貴重な機会 (6)	
子宮頸がんワクチンを打つか迷い検討のために (10)	子宮頸がんワクチンを打つか迷い検討に活用でき、将来役立つ (13)
将来に役立ちためになる (3)	
Z世代の年代に合ったテーマで興味深い (6)	普段扱われないZ世代の年代に合ったテーマで興味深い (10)
普段扱われない内容を聞き安心できた (4)	
データに基づき、内容の濃い、ポイントを押さえ具体的でわかりやすい (7)	講義評価；内容が濃く、ポイントが示されわかりやすく、検診と治療に関する提示への賛同 (10)
講師の意見、検診と治療に関する同意 (3)	

表3 2年次の感想からの学び サブカテゴリとカテゴリ

サブカテゴリ<8>	カテゴリ《4》
月経や子宮頸がんの知識を詳しく知る、わかりやすく学ぶ、理解する、勉強になる (25)	改めて、月経や子宮頸がんなど今までの知識より、詳しく知る、学ぶ、理解する、勉強になる (33)
今まで深く習うことがない内容の詳細を学ぶ (5)	
改めて知る (3)	
子宮頸がんを打つか迷いがあったが考え直す機会になり、参考になる (9)	講義内容を参考に考え直す、気づきの機会 (12)
気づきと考え直しの機会 (3)	
将来への対応と意欲 (3)	将来に活かしていく (5)
将来に役立ちためになる (2)	
感謝	感謝

表4 4年次の感想からの学び サブカテゴリとカテゴリ

サブカテゴリ<13>	カテゴリ《4》
症状や治療の知識を詳しく知る、わかりやすく学ぶ、理解する、勉強になる (8)	普段聞けない分野の知らない大事な事を知る、学ぶ、理解する、勉強になる (14)
普段聞けない分野の話聞きためになる (3)	
知らないことを知る (2)	
大事な内容	受診やワクチン接種も含め、自分の身体について考える機会 (6)
自分の身体について考える機会 (3)	
受診を勧める機会	
ワクチンを打つ迷いが払拭できた (2)	授業評価；聞きやすく、わかりやすい、面白い、興味あり、スライド表示 (数字や字の大きさ)、話の速さ (6)
聞きやすく、わかりやすい (2)	
面白く興味がある	
数字と具体的なもの両方が欲しい	
情報が多く、速い	
スライドの字が小さい	
感謝	

《子宮頸がんワクチンを打つか迷い検討に活用でき、将来役立つ》《普段扱われない内容、Z世代の年代に合ったテーマで興味深い》《授業評価；内容が濃い、ポイントが示されわかりやすく、検診と治療に関する提示への賛同》の4つのカテゴリが得られた。

2年次生は《月経や子宮頸がんなど今までの知識より、改めて詳しく知る、学ぶ、理解する、勉強になる》《講義内容を参考に考え直す、気づきの機会》《将来に活かしていく》《感謝》の4つのカテゴリが得られた。

4年次生は《普段聞けない分野の知らない大事な事を知る、学ぶ、理解する、勉強になる》《受診やワクチン接種も含め、自分の身体について考える機会》《授業評価；聞きやすく、わかりやすい、面白い、興味あり、スライド表示（数字や字の大きさ）、話の速さ》《感謝》の4つのカテゴリが得られた。

(2) 一般の感想 (図4 参照)

講演について、大変良かった63.4% (26/41)、良かった36.6% (15/41)であった。その内容は、概ね好評であった。

記述内容のカテゴリを表5に示す。

一般は、《専門分野で知らないことを詳しく知り、仕事上の質問などに活用する》《わかりやすく、聞きやすく、スライドなどで理解が深まる》《自分自身の該当内容であり、不安などが解消され、振り返り、考え直す機会》《ワクチン、検診などの大切さがわかり、知識を学び、勉強になる》《感謝》《このテーマの勉強会を近隣で受講できるのは嬉しい》の6つのカテゴリが得られた。

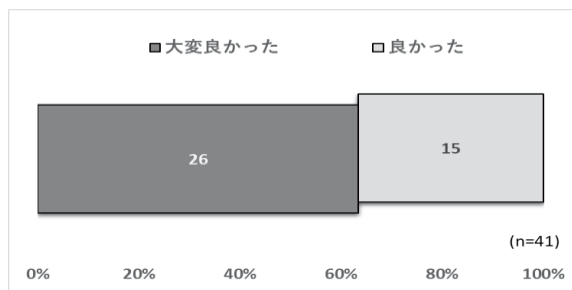


図4 一般の感想

表5 一般の感想からの学び サブカテゴリとカテゴリ

サブカテゴリ<12>	カテゴリ《6》
専門分野の質問の対応や説明などの今後の仕事に役立つ (7)	専門分野で知らないことを詳しく知り、仕事上の質問などに活用する (17)
知らないことを知った (6)	
詳しい内容を聞く (4)	
わかりやすい内容であった (8)	わかりやすく、聞きやすく、スライドなどで理解が深まる (10)
聴きやすい	
スライドで理解が深まる	
該当内容で自分のことを振り返り考え直す機会 (4)	自分自身の該当内容であり、不安などが解消され、振り返り、考え直す機会 (6)
ワクチン接種の不安が解消された (2)	
知識、豆知識を含め学び、勉強になる (3)	ワクチン、検診などの大切さがわかり、知識を学び、勉強になる (5)
ワクチンや検診の大切さがわかる (2)	
感謝 (2)	感謝 (2)
このテーマの勉強会を近隣で受講できるのは嬉しい	このテーマの勉強会を近隣で受講できるのは嬉しい

4. 考察

1) 参加者の学び

今回のテーマが普段扱われない分野の専門的テーマであり、かつ、年齢的にZ世代にあたる学生にはタイムリーな子宮頸がんワクチンの内容であり、実際に接種の有無を従来のマスメディアだけの情報で接種を躊躇していた学生もいたが、詳しい情報、正しい情報をデータとして知る中で、自分で納得して判断し考える機会を得ていたと考える。2007年以降、世界的にHPVワクチンが導入され、定期接種化され、スウェーデンでは、17歳までに摂取した女性では、30歳以下の子宮頸がん発生リスクが88%減少したと報告している<sup>2)</sup>。

看護職者は関わる対象者からの質問や対応で活用できる情報を得て、即、臨床や保健指導の部分で活用できる知識を得たことや、この分野のテーマは東京などの専門研修で受けることが多いことから近場で学習できたことに嬉しいという思いを抱いていた。コロナ禍によって2会場での開催であったが、参加者の感想か

ら、それぞれの立場で自分自身に振り返り、気づき、自分の健康管理のあり方や将来に活かそうとしていたことが明らかになった。

講演から、学習する時のわかりやすさ、聞きやすさ、豆知識の提示、スライドの内容、データの示し方などが勉強になったようである。一部、分野の違いのある学生の参加者で文字の大きさ、話す速さに違和感を持った者もいたが、各学年、各所属で自分の学習するフィルターで吸収し、今後の学習や実習での判断、臨床や保健分野で活用されるであろうことが感想の学びから示唆された。

講師が日頃から大切にしている性教育に関する情熱や伝えようとする力強さを講演から十分伝えていただいたと考える。

今後も、学生や看護職者の学びのモチベーションを刺激できる内容を企画していきたいと考える。

## 5. まとめ

- 1) Z世代にあたる学生にはタイムリーな子宮頸がんワクチンについての講演内容であり、実際に接種の有無を従来のマスメディアだけの情報で接種を見合わせていた学生もいたが、詳しい情報、正しい情報をデータとして知る中で、自分で納得して判断し考える機会になっていたと考える。
- 2) 看護職者には、即、臨床や保健指導の部分で活用できる知識を得る機会となっていた。
- 3) 講演から、学習する時のわかりやすさ、聞きやすさ、豆知識の提示、スライドの内容、データの示し方などを勉強し、講師からの性教育に関する情熱や伝えようとする力強さを受け止め、学ぶことができていた。

## おわりに

看護セミナーの感想から学びと今後の活動に向けた希望のまとめについて述べた。

今後も看護セミナーの事業を継続し、看護職者への日々の仕事のあり方やワークライフバランスに至る過程を振り返り、対人関係職としての感受性を高められる一機会とできるよう参加者のニーズに即した内容にしていきたい。この看護セミナーの開講にご協力いただきました皆様、調査にご協力くださった皆様に心より御礼を申し上げます。

## 付記

本稿は、名寄市立大学コミュニティアケア教育研究センターとの共催事業である。

## 引用文献

- 1) SMBC 日興証券：Z世代初めてでもわかりやすい用語集, <https://www.smbcnikko.co.jp/terms/eng/z/E0146.html> (2023年2月20日閲覧)
- 2) 一般社団法人日本思春期学会 (2021) 思春期学基本用語集. 講談社. p59. 東京都.